※令和４年度以降入学生用

学校番号	3004

2026（R8）年度　社会科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校「公共」　（教育図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちが生きている社会にはさまざまな解決しなければならない問題(＝課題)があります。公共の授業は社会の課題について、みなさんが社会の一員として自分で考え解決していくことができるようになるための、基本的な力を身につけることを目指します。学習している内容と実際に私たちが直面している社会とのつながりを常に意識しながら学習しましょう。

2　学習の到達目標

・選択・判断の手がかりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身に付ける。
・現代の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
・よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代社会の諸課題を捉え考察し、選択判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から論理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に、調べまとめる技能を有している。	現代社会の諸課題の解決に向けて選択・判断するための手掛かりとなる考え方や基本原理を活用して、多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付けている。	多面的・多角的な考察や深い理解を通して、よりよい社会の実現を視野に国家及び社会の形成者として現代社会の課題を、主体的に追究、解決しようとする態度を身に着けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	公共の扉　公共と人	1　人は一人では生きられない 2　人はどのようにつながるのか 3　自由と正義の実現を目指して 4　誰が医療を支えるのか	a:様々な公共の概念を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b:様々な公共の概念及び基本原理について諸資料を活用して多面的・多角的に考察し、構想したことを適切に表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に入れ、様々な考え方や基本原理を多面的・多角的な考察や深い理解を通して社会参画する自立した主体及び人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	公共の扉　公共と倫理	1　生徒会予算をどう分配するか 2　意見が分かれたときにどう決めるか 3　民主政治の歴史 4-1　日本国憲法の三つの原理 4-2　基本的人権の尊重 5-1　大学入試と男女差別 5-2　なぜ女性医師が日本では少ないのか 6　表現の自由とヘイトスピーチ	a:公共の空間的な基本原理に ついて理解しているとともに、各人の意見や利害を公正・公平に判断することで人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが公共的な空間を作る上で必要であることを理解している。 b: 公共の空間的な基本原理について概念的枠組みを活用して考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本原理について理解しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	現代社会の諸課題　法	1　法と社会 2-1　多様な契約 2-2　消費者の権利と責任 3-1　日本の司法制度 3-2　国民の司法参加	a: 法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に日本国憲法の基本的性格や日本の政治機構について理解している。また、現代社会の諸課題に関わる諸資料から自立した主体として活動するために、必要な情報を適切かつ効果的収集し読み取り、まとめる技術を身に着けている。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり、構想したりしたことを、論拠を持って表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	現代社会の諸課題　政治	1-1　選挙と政治参加 1-2　公正な世論の形成 2-1　国会と内閣 2-2　地方自治 3　国家主権と領土 4-1　安全保障と防衛 4-2　21 世紀の世界情勢 5　国際社会と日本				
	現代社会の諸課題　経済	1　職業選択 2-1　雇用と労働 2-2　労働者の権利 3-1　財政の役割 3-2　租税の仕組みと国債 4　少子化と社会保障 5　市場経済の役割と限界 6-1　金融のはたらき 6-2　日本銀行と金融政策 7-1　グローバル化と経済統合 7-2　格差是正と多文化主義	a: 雇用と労働問題など現代の経済社会ついて理解しているとともに、現代社会の諸課題に関わる諸資料から自立した主体として活動するために、必要な情報を適切かつ効果的収集し読み取り、まとめる技術を身に付けている。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり、構想したりしたことを、論拠を持って表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

３学期	現代社会の諸課題　情報	1　つながりっぱなしの私 2　インターネットは公共圏か？ 3　災害時の情報発信と受信	a: 現代社会が膨大なメディアを介して無数の情報を受け取るメディア社会であること、災害時に迅速かつ正確な情報を受信、発信する方法について理解しているとともに、現代社会の諸課題に関わる諸資料から自立した主体として活動するために、必要な情報を適切かつ効果的収集し読み取り、まとめる技術を身に付けている。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり、構想したりしたことを、論拠を持って表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に多面的・多角的な考察や深い理解を通して、ともに生きる社会を築くという視点から課題を見出し、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	持続可能な社会へ	1　演劇で表現する 2　地域社会と共に学ぶ 3　バリアフリー社会の実現を目指して 4　SDGs実現のために私たちができること				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度